



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

# 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1  
事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016  
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／竹村 利之 幹事／粕尾 正康 クラブ会報委員長／中野 欣哉  
SAA／松本 克幸 副 SAA／高井 亘

第1394回例会 2016年（平成28年）7月29日（金）

## 人類に奉仕するロータリー Rotary Serving Humanity

会長挨拶 竹村利之会長

### 「大工と雀は軒でなく」

木造建築の設計をしていて一番難しいのは、屋根の軒反りです。建物の軒反りを木割と規矩術などの伝統技術によって形を決めていくのが宮大工とするならば、私の廻りにはあまりこの様な大工はいません。「大工と雀は軒でなく」と言われている位、大変な箇所です。（広辞苑では宮大工とは神社・宮殿を専門とする大工とされている。）

屋根の形は、切妻造、寄棟造、入母屋造、片流れ造等がありますが、この屋根によって建物の姿が決定されます。これによってまた周辺環境が変わります。

昭和初期頃から大工と設計者が分業化し、昔のように設計まで含めて建築のすべてに係る大工は極めて少なくなりました。同時に木のことを本当に熟知した大工や設計者は少なくなりました。良い建物を造る為には施主と設計者と大工が必要ですが、経済的な効率を重要視する現代では、昔の様に腕の立つ職人の仕事の価値はなかなか認められません。昔は施主が職人を育てたものですが、今では時間と金に追われ、意気に感じていい仕事をしようとする職人が大変生きにくい時代になりました。

私がある寺の設計監理をした時、住職の奥様が高等学校の先生をしておられ、教え子の中で「宮大工になりたいのですが、誰か紹介してほしい」と電話があり、諏訪の宮大工を紹介し話を聞か

せたのですが、すぐ止めると言ってきました。そういう話しが時々ありますが、仕事が大変でなかなか育つ人がいません。

【結論として】・・・木造建築は日本の宝です。それを伝えていく大工・建具・左官・屋根屋などの職人技術も日本人の宝です。将来何としても伝えていかねばならないと思っております。

幹事報告 高井 亘副 SAA



幹事、副幹事欠席ですので私が代理を務めさせていただきます。

- ・創立30周年記念式典 9月16日の出欠を今月中にお願いします。
- ・合わせて10月16日の地区大会の出欠も返信ください。

・8月のロータリーレート 1ドル102円。

ダメゼッタイ運動について 瀧澤社会奉仕委員長

ダメ。ゼッタイ。普及運動、国連支援募金について例会場に募金箱を設置します。合わせて社会奉仕委員会予算より一人500円の7月1日付人数分を支出し10月をめぐりに送金します。ご協力よろしくをお願いします。

8 / 5 本日のプログラム

会員卓話 伊東義次さん

「一年を振り返って」

出席・ニコBOX報告 宮原友昭例会運営委員長

7/29(会員54名)出席32名前々回修正出席率75.51%

ゲスト 渡辺ヒデ子さん

(NPO法人みどりの市民事務局長)

- ・宮川礼二さん☆暑中お見舞い。
- ・宮原友昭さん☆ようやく梅雨も明けこれから夏本番です。良く食べ、良く眠り夏バテしないようにお過ごし下さい。

・合計 7,000円 ・累計 82,740円

講師紹介 西沢 徹プログラム委員長

渡辺ヒデ子さんはNPO法人みどりの市民事務局長で、事務所が西クラブと同じビルの食糧会館と言うことで何度か顔あわせをさせていただいており、今回卓話にお招きいたしました。環境問題等様々な切り口でお話頂きます。

### 創立30周年記念式典・祝賀会

2016年9月16日(金)開催 於:犀北館  
西クラブ会員集合:15:30 記念撮影  
式典・祝賀会:18:30~

### 創立30周年記念旅行のお知らせ

2016年10月23日(日)~24日(月)  
東北方面 ご家族も一緒に!  
スケジュールにお入れください。

### 例会案内

- 8月12日 休会
- 8月19日 ゲスト卓話 西沢 正隆さん  
(長野県議会議員)  
「データで見る長野県」
- 8月26日 30周年準備例会

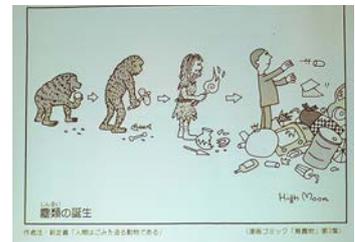
## ゲスト卓話 渡辺ヒデ子さん

「ニコニコライフを目指して」



皆さんこんにちは。長野西ロータリークラブにお招きいただきありがとうございます。今日は経営者さんのお集まりということでいささか緊張しております。

私は、以前長野市清掃センターの中にあるリフレッシュプラザで仕事をしていたことがあり、それがきっかけでゴミ問題、環境問題に興味を持ちました。長野環境パートナーシップ会議が出来たときのメンバーもさせていただき、自分たちで環境問題に向き合う場をつくろうと「NPO法人みどりの市民事務局」を立ち上げました。NPO法人で環境を扱うというのは当時珍しかったと思います。人間が文明を持てば持つほどゴミが増える。大量生産、大量消費、使い捨てから今はもったいない精神が変わってきています。私たちの活動は身近なゴミ問題から入りました。最初に取り組んだのはレジ袋の削減。日本が生んだレ



じん  
「塵類の誕生」

ジ袋やペットボトルはとても便利で、あっという間に世界に広がりましたが、同時に自然界で分解できない有害なマイクロチップとなって土壤に堆積されたり、鳥や魚が飲み込んで体内に蓄積され社会問題となりました。エコバック使用を呼びかけ、現在は60%の使用率まで意識が上がっています。たかがレジ袋1枚ですが、毎日の暮らしに意識を持つことが必要です。ひまわり栽培からひまわり油をとったり、エコキャンドルコンサートをしたり、様々なエコ活動を通して環境意識を高め、どうしたら自然に負荷を与えないか?日々の生活で楽しみながら行動することが大切だと思います。

会報当番:青木 宏クラブ会報副委員長